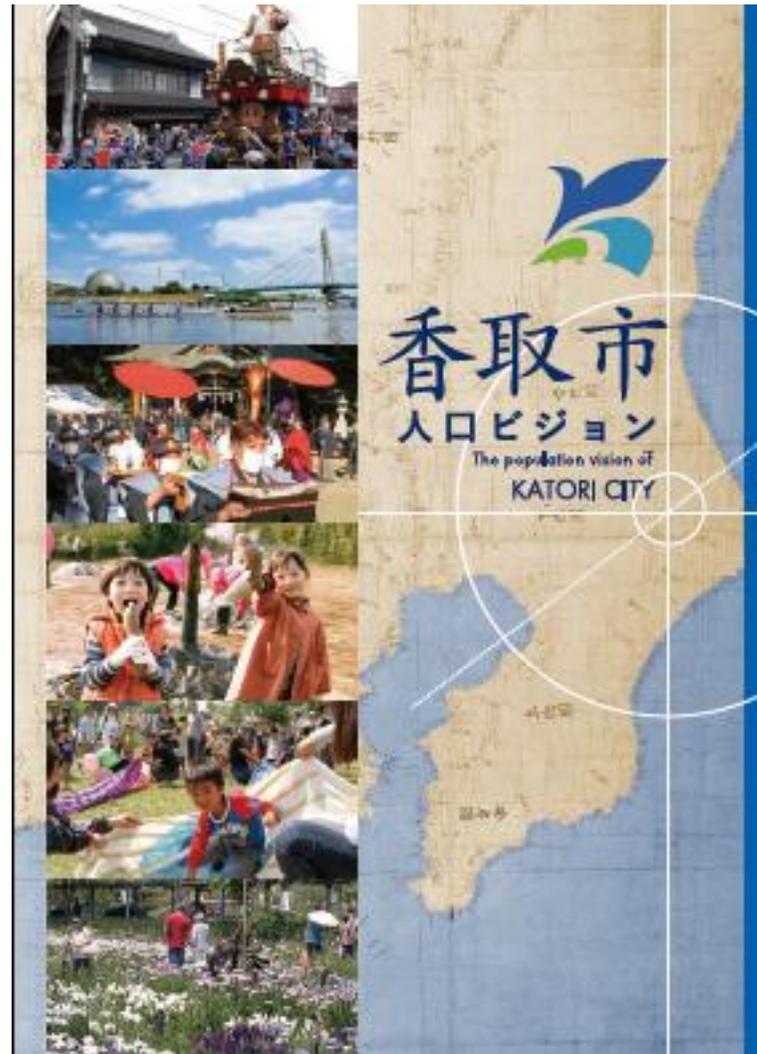


# 平成30年度 香取市まち・ひと・しごと創生推進会議

# ○「香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「香取市人口ビジョン」



「香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略」  
(平成27年度策定)



「香取市人口ビジョン」  
(平成27年度策定)

# ◎香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

## 1. 策定の趣旨

香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、地域経済の低迷、少子高齢化の進行など、本市を取り巻く厳しい環境の中においても、「住みたい」「住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりに向けた施策を積極的に推進していくことにより、人口減少に歯止めをかけていくことを目的に具体的な施策をまとめたものです。

## 2. 対象期間

総合戦略の対象期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間。



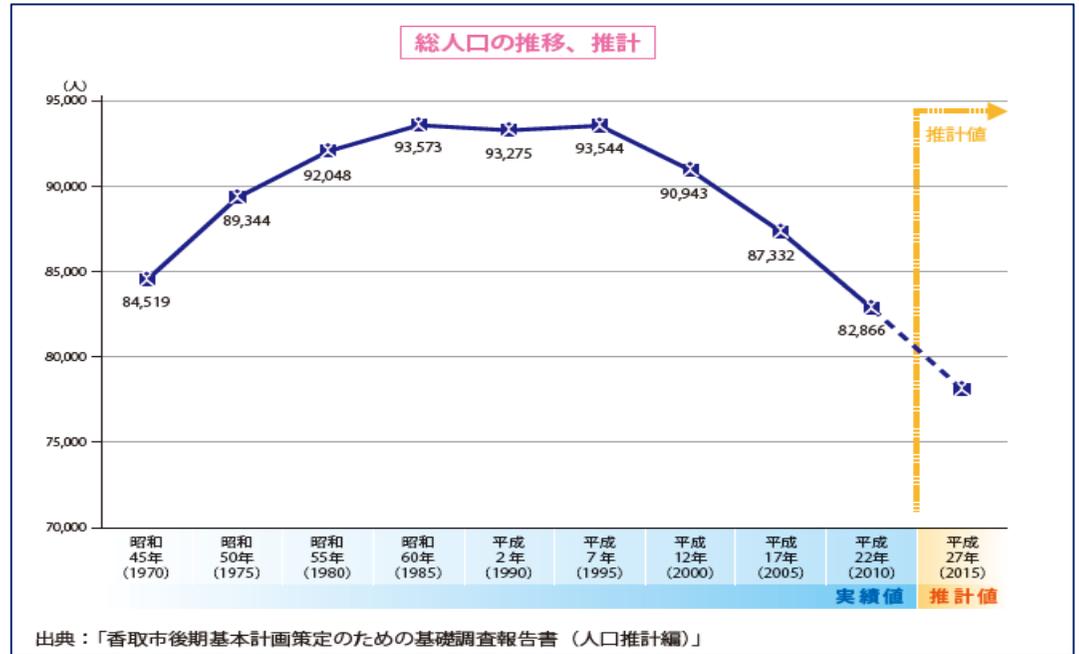
## 3. 基本目標

- (1) 地域における安定した雇用を創出
- (2) 定住と香取市への交流・移住を促進
- (3) 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる環境の整備
- (4) 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携を促進

# ◎香取市人口ビジョンの概要

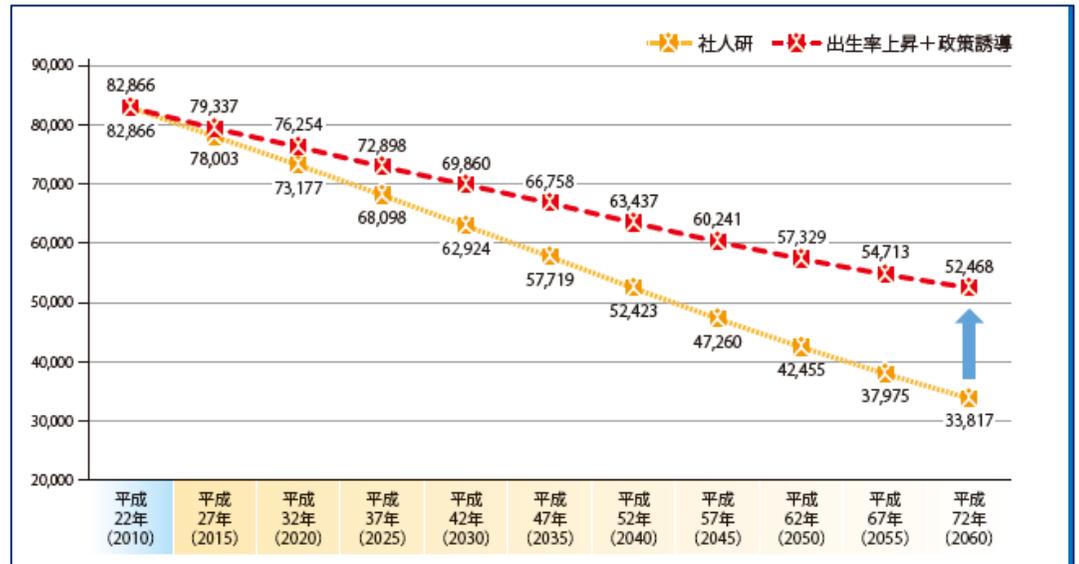
## 1. 香取市の人口の現状 (人口の推移)

人口は、平成7年以降、急激な減少が続いている。

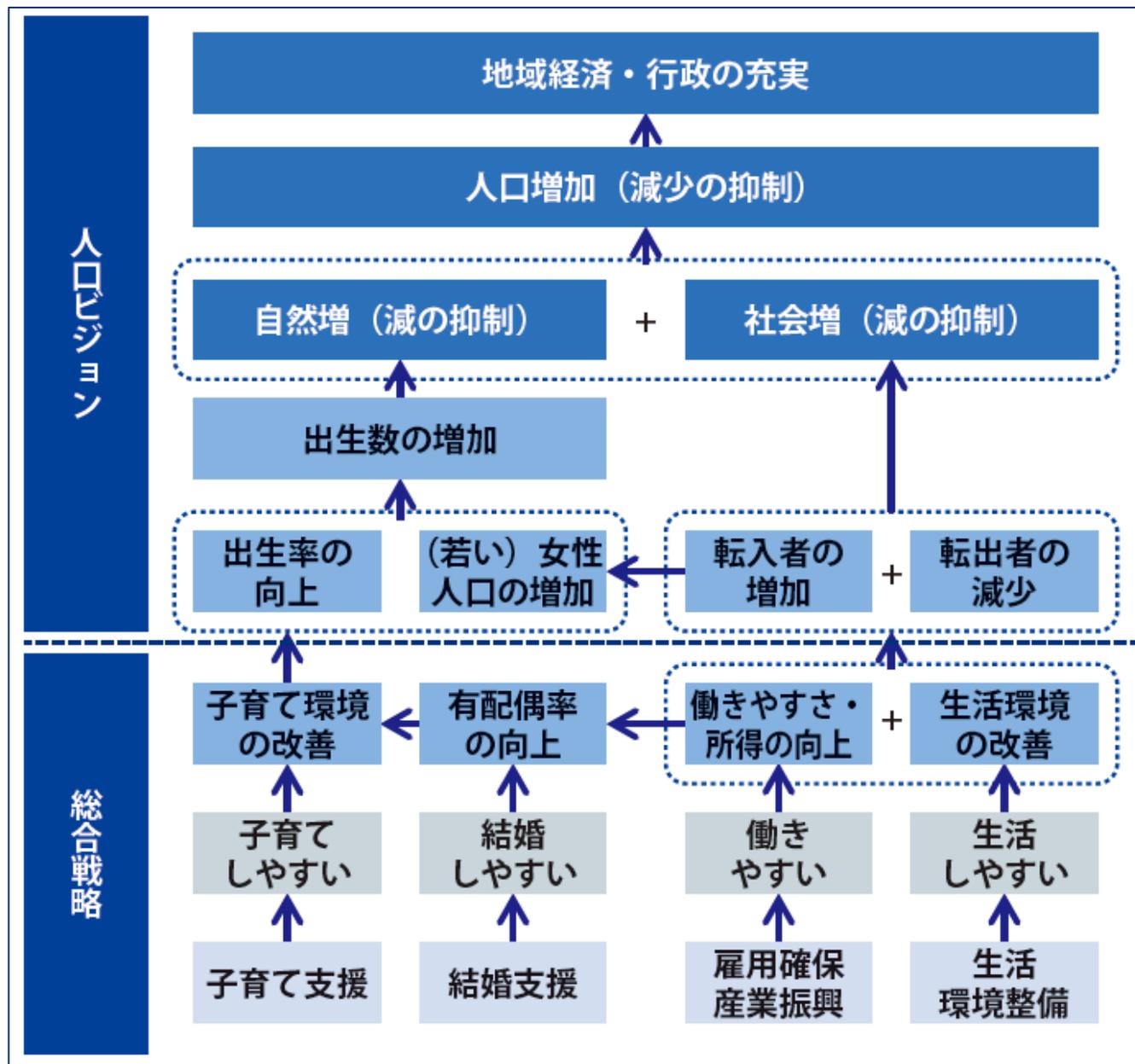


## 2. 香取市の人口の推移 (将来展望)

出生率の上昇や何らかの施策誘導を行わない場合、市の人口は、推計で約34,000人に減少する



# ◎総合戦略と人口ビジョンの関係



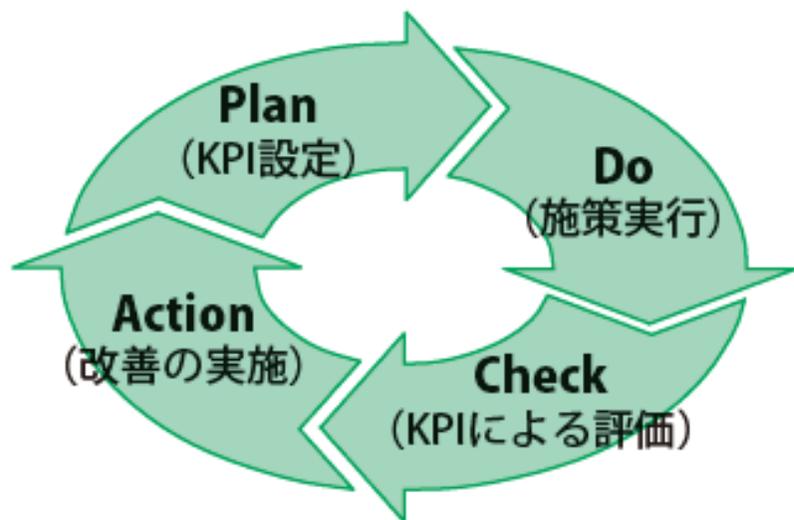
総合戦略における施策を実行し、施策それぞれの数値目標等を達成することで、人口増加(減少の抑制)、地域社会・経済の維持など、持続可能な社会を構築することを目的とする。



効果の流れ

### ・施策目標設定と施策検証の枠組み

- 施策の基本目標については、人口ビジョンを踏まえ、国の総合戦略における政策4分野ごとに、実現すべき成果(アウトカム)を重視した数値目標を設定。
- 国の政策分野ごとに、講ずべき施策の基本的方向と具体的な施策を盛り込み、具体的な施策ごとに客観的な重要業績評価指標(KPI)を設定。
- **設定した数値目標等を基に、実施した施策・事業の効果を外部有識者等の参画により検証し、必要に応じて総合戦略の改訂を行うことにより、PDCAサイクルを確立する。**  
また、基本目標を達成するために、取り組む施策の基本的方向と主な取り組み及びその重要業績評価指標(KPI)を設定。



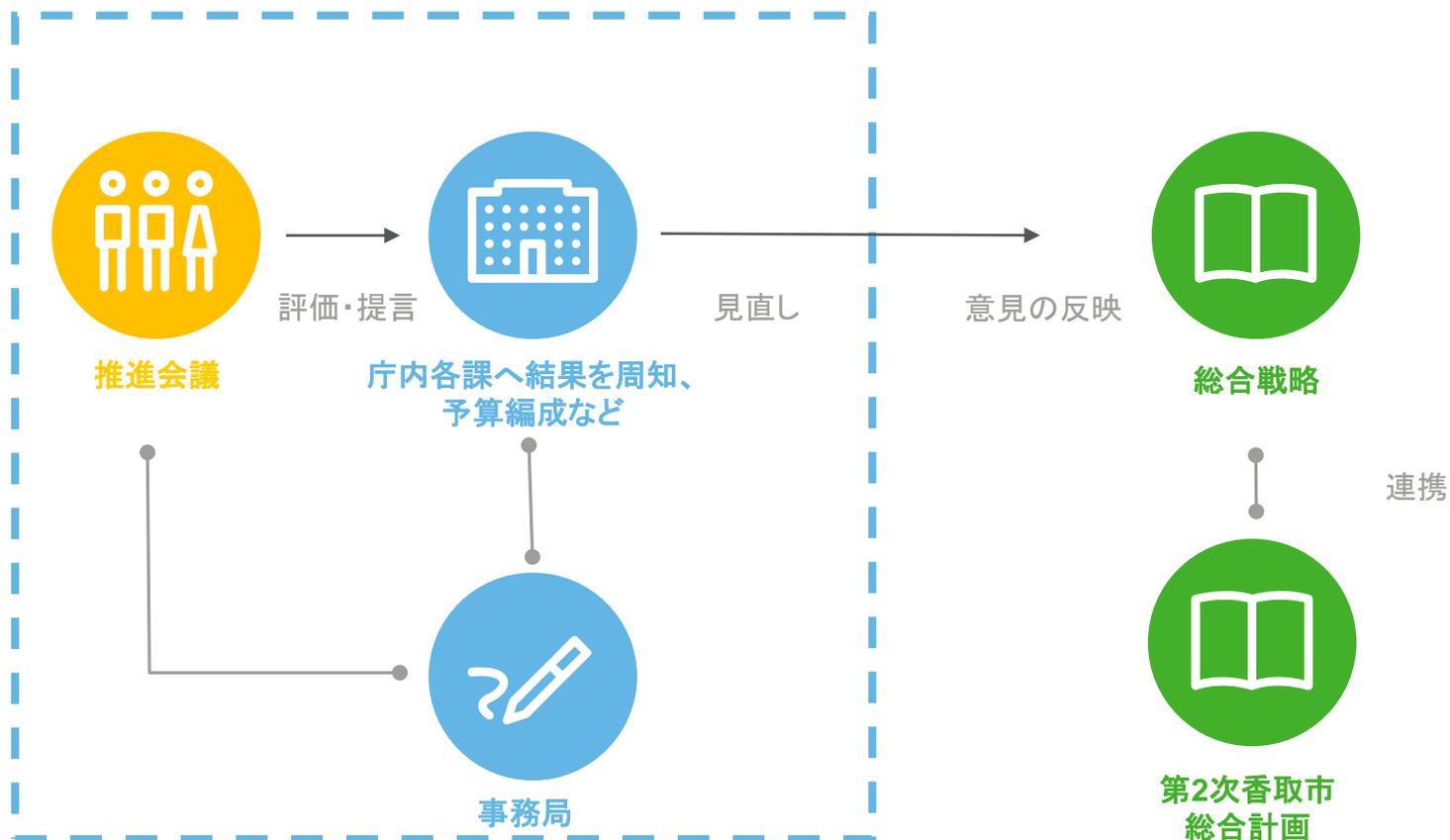
#### ※PDCAサイクル

総合戦略における施策及び数値目標等(Plan)を、計画期間の年度ごとに、市が実行した施策(Do)について、KPIを用いて推進会議において検証・評価し(Check)、提言等により見直し、改善を図る(Action)。

# ◎香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証(推進会議)

## ・推進会議の役割

推進会議の協議結果は、総合戦略に関係する庁内各課で活用し、来年度の総合戦略を見直す参考となります。





(3)総合戦略における主たる施策・事業の進捗状況について

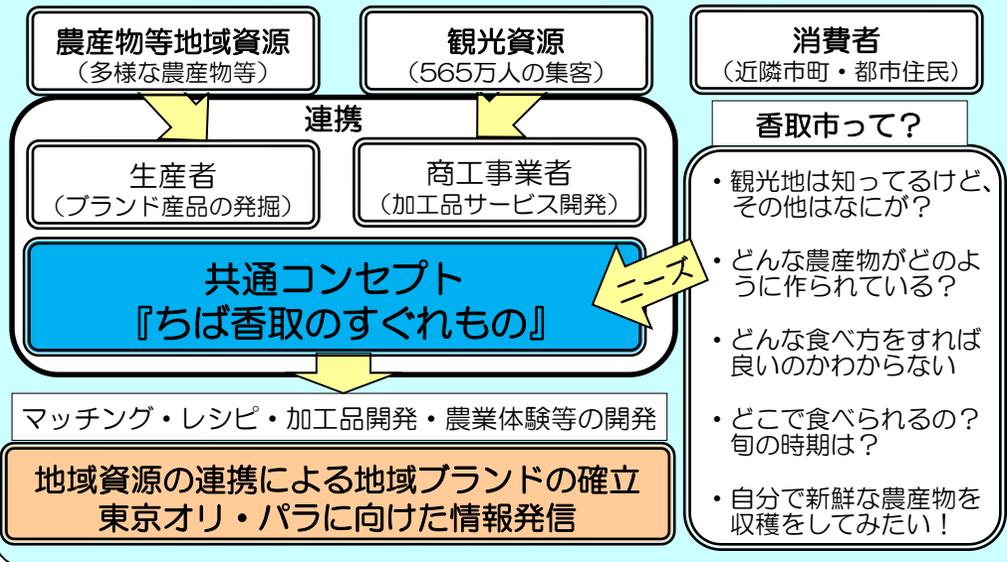
- ①地域的な特性を持つ農産物等のブランド化に向けた取り組み
- ②橘ふれあい公園整備事業
- ③佐原駅周辺地区複合公共施設整備事業
- ④バスターミナル整備事業
- ⑤伊能忠敬翁顕彰事業の推進

# 5. 議事 (3) 総合戦略における主たる施策・事業の進捗状況について

## ① 地域的な特性を持つ農産物等のブランド化に向けた取り組み

「香取市6次産業化等戦略」の策定に係る調査で、香取市の観光による認知度と農産物・特産品の認知度のかい離、600万人近くの観光入込客数にも関わらず、市内消費に繋がっていないこと等がわかった。このようなことから、香取市の持つ歴史的・文化的な観光資源とそれを支える農産物等その他の地域資源を連携させることで、農産物等の付加価値向上と価値共有する者を増加させ、ブランド化を目指す。

### 背景と趣旨

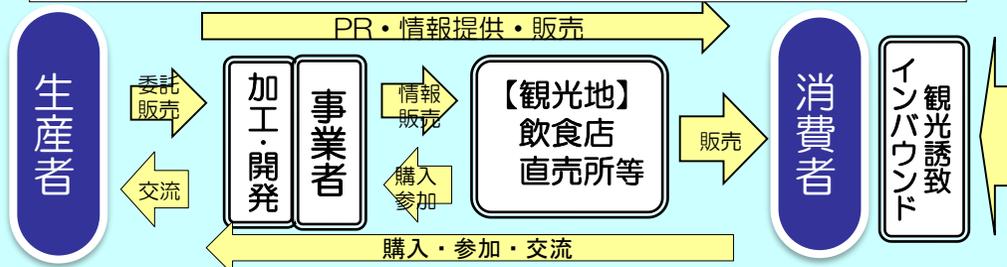


### 事業内容

- 『ちば香取のすぐれもの』活用 (認知度かい離の解消)  
歴史的・文化的な観光資源と農業・農産物等の物語性を結ぶ
- ブランド運用 (ブランド認定品目の決定方法等を検討)  
共通コンセプトによって統一された、商品価値を高めるためのデザインの活用方法と併せてブランド品目を検討する
- ブランド価値の共有 (連携・共有のため交流勉強会等の開催)  
生産者、実需者に加え、専門家を交えた交流勉強会等の開催
- 市場調査 (飲食店等の実需者及び消費者へのニーズ調査の実施)  
フェア開催等により試食・販売等を行いながら、アンケート等による実需者ニーズ・消費者嗜好を探る市場調査を行う
- 情報発信 (SNS等を活用した情報発信)  
全国の消費者へSNS等を活用した情報発信を行い、『ちば香取のすぐれもの』の認知度向上施策を実施
- 市内観光拠点との連携  
水郷佐原あやめパークや市内の加工場等の観光交流施設を6次産業化等のPR拠点として活用し、イベントを開催する

### 農産物等と固有の観光資源のイメージを結びつけることで価値を高める

香取市内で共有されるブランドコンセプトに沿った活動による地域ブランド化を目指す



# 5. 議事 (3)総合戦略における主たる施策・事業の進捗状況について

## ②橋ふれあい公園整備事業

### 【現況施設の概要】

○出会いの広場 (約6,800m<sup>2</sup>)

- ・芝生広場、トイレ、四阿、ベンチ、炊事場等

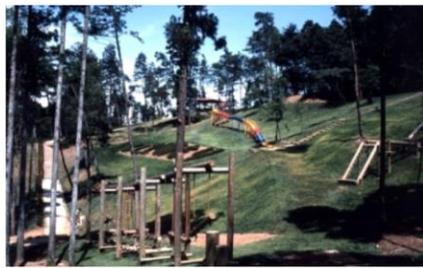
○憩いの森 (約13,000m<sup>2</sup>)

- ・展望台、ローラー滑り台、アスレチック、トイレ、四阿、ベンチ等

○ふれあい水辺遊歩道 (約550m)



芝生広場を囲む炊事場とテーブル  
【出会いの広場】



ローラー滑り台とアスレチック  
【憩いの森】

香取市の「自然体験エリア」の一つである「橋ふれあい公園」を、豊かな自然空間を活かし、多世代間の交流の場、市民の健康増進の場及び市外からの来訪者を誘致する場として拡張・再整備。

### 【事業計画概要】

全体計画 約10.6ヘクタール

#### ○第1工区

- ・管理事務所兼体験学習施設、パークゴルフ場(36ホール)、イベント広場(臨時駐車場)等

#### ○第2工区

- ・キャンプ場、バーベキュー広場、多目的ひろば等

#### ○第3工区

- (既存公園の再整備)  
・芝生広場、子どもの遊び場、水辺テラス等



橋ふれあい公園将来計画  
イメージパース



# 5. 議事 (3)総合戦略における主たる施策・事業の進捗状況について

## ③佐原駅周辺地区複合公共施設整備事業

### 事業目的

JR佐原駅周辺地区の清見屋跡地を活用し、老朽化している中央公民館及び中央図書館施設の建替え施設であるほか、子育て世代支援施設、観光情報発信施設などの機能をコンパクトに集積した複合施設として、新たな賑わいの創出による中心市街地の活性化と市民の利便性等の向上を目的とする。

### 施設整備概要

#### 《施設規模》

- ◇敷地面積：9,657㎡ ◇構造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造4階建て
- ◇建築面積：2,261㎡ ◇建物高：22.9m ◇延床面積：6,574㎡
- ◇駐車台数：155台（障がい者用含む）

#### 《整備スケジュール》

- H27～28 (仮称)まちおこしセンター事業計画見直し・基本計画策定
- H29 基本設計策定・用地取得
- H30 実施設計以降における発注方式等の検討
- ※H31以降のスケジュールは、発注方式により異なるが、H33～34年度頃完成予定。

香取市の誇りとなるシンボル性の確保し、周辺環境と調和を図ることをテーマとした町並みの色彩を取り入れた外観デザイン



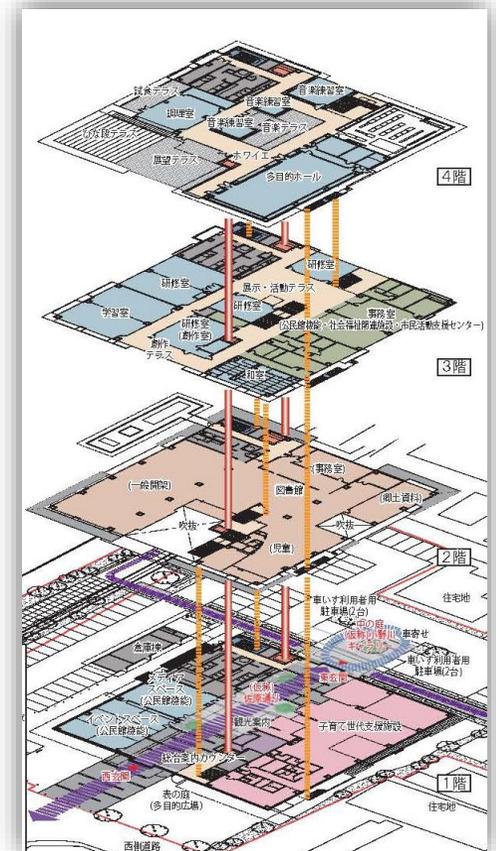
### 平面計画

**4階**：公民館機能(多目的ホール256席、調理室、音楽練習室)、外部テラス

**3階**：公民館機能、(学習室、研修室、創作室)、社会福祉関連施設、市民活動支援センター事務室

**2階**：図書館(一般・児童開架約8.7万冊、閉架・郷土資料約5万冊、閲覧席約60席)

**1階**：エントランスホール(「仮称佐原どおり」、観光情報発信施設、子育て世代支援施設、公民館機能(イベント・メディアスペース))



# 5. 議事 (3) 総合戦略における主たる施策・事業の進捗状況について

## ④バスターミナル整備事業

### 現状・課題

- ・JR定期特急列車の廃止(H27.3)により、香取市と首都圏を結ぶ交通手段として、鉄道は必ずしも利便性が良いとは言えない状況にある。
- ・鉄道以外の都市間公共交通として高速バスがあるが、通勤通学時間帯の運行本数は少ない状況にある。
- ・現状、首都圏との公共交通が脆弱な香取市に、定住しながらの東京圏や近隣都市への通勤通学は困難であり、若年層の転出(就職、転職、進学等)による人口社会減が顕著である。
- ・香取市は県内有数の観光地であるが、近年「北総の町並み」が日本遺産に認定された(H28.4)ほか、佐原の山車行事」がユネスコ無形文化遺産に登録決定されたところである(H28.12)。
- ・千葉県内の国指定文化財が世界遺産やユネスコ無形文化遺産として登録されるのは、今回が初めてで、今後益々の観光活性化が見込まれており、新たな来街者に対応する受入れ環境整備は急務である。

### 市内高速バス運行状況

・香取市⇄東京 運賃 1,750円～2,050円  
所要時間 概ね90分程度

高速バス路線名 (バス停名)	年間乗降客数			発着便数 (H25・平日)	
	H24	H25	H27	1日	1時間当り※2
①佐原ルート※1	15.0万人	16.7万人	17.9万人	11往復/日	0.6便/時間
(佐原駅北口)	5.4万人	5.5万人	5.7万人		
②小見川ルート	10.4万人	13.4万人	11.8万人	9往復/日	0.5便/時間
③銚田～東京線	8.6万人	12.0万人	6.5万人	6往復/日	0.4便/時間

※1 現在佐原駅北口へ乗り入れている高速バス路線。

※2 東京駅の主な発着時間帯である6時～23時台(17時間)を母数とし算出。



※基本設計段階の整備イメージであり、今後変更の可能性があります。

### 事業目的

- ・都市間交通の手段として、高速バスを活用し、既存路線のサービスレベルの強化、新規路線の整備を進めるための拠点整備。
- ・拠点区域と市外との交通アクセス向上により、市内に居住しながら東京圏等への通勤通学を可能とし、若年層の定住選択が可能となる地域環境の実現。
- ・来街者の大きなボリュームゾーンである首都圏とインバウンド需要取込みのため成田空港への交通アクセス向上により、国内外からの観光客来訪による交流人口拡大。

### 施設整備概要

- ◆整備事業費 ※2018年度(平成30年度)実施設計にて算出予定
  - ・地方創生推進交付金事業(補助率5.0/10)
  - ・社会資本整備総合交付金事業(補助率4.0/10)を活用
- ◆導入施設 バス拠点整備面積 約3,600㎡、シェルター、待合所・トイレ、タクシー乗り場、障がい者乗り場、バス一時待機所(2台分)
- ◆整備スケジュール(案)
  - ・2018年度(平成30年度) 実施設計
  - ・2019年度(平成31年度)～ 用地買収、整備工事
  - ・2021年度(平成33年度) 供用開始予定

# 5. 議事 (3) 総合戦略における主たる施策・事業の進捗状況について

## ⑤伊能忠敬翁顕彰事業の推進



### 伊能忠敬翁没後200年記念事業

平成30年は伊能忠敬翁が亡くなってから200年目の節目の年であり、伊能忠敬翁の偉大な業績を後世に伝え、永く歴史にとどめるため、佐原駅南口ロータリー内に銅像を建立するほか、広く市民に楽しんでいただけるシンポジウムや落語の講演、国宝伊能忠敬関係資料図録刊行、伊能大図全国パネル公開展を開催。

#### ■立川志の輔独演会 【大河への道】 ～伊能忠敬物語～

平成30年4月7日（土） 15時00分開演 佐原文化会館

#### ■伊能忠敬翁銅像建立事業

伊能忠敬翁銅像建立委員会が平成28年10月から寄附を募り、佐原駅南口ロータリー内に銅像を建立。  
寄附金額：29,108,082円 延べ人数：181名

#### ■伊能忠敬翁没後200年記念式典

平成30年5月20日（日） 9時15分から12時30分

◇伊能忠敬翁銅像完成記念除幕式典

◇伊能忠敬翁没後200年記念式典

◇シンポジウム シーボルト事件 ～「その時」と「その後」～

①基調講演 「その時」～北方図をつくった男たち 講演者：佐々木利和氏(北海道大学客員教授)

②パネルディスカッション 「その後」～我が家に伝わるもの

パネラー：伊能忠敬子孫、シーボルト子孫、間宮林蔵子孫ほか

コーディネーター：久留島浩氏(国立歴史民俗博物館長)

③佐原小学校校歌・偉人の像 斉唱(佐原小学校合唱部)

◇伊能大図パネル帰着式

◇伊能大図全国パネル公開展

#### ■シンポジウム第2部 「伊能忠敬一業績と時代」

平成30年6月24日（日） 13時30分から17時00分 佐原中央公民館

#### ■伊能忠敬記念館 特別・企画展

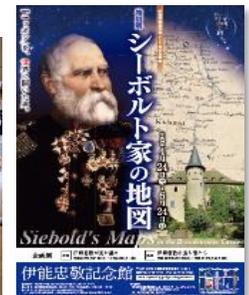
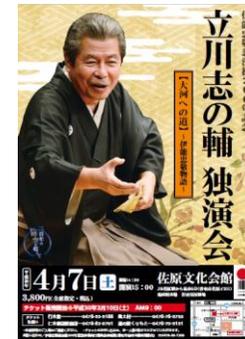
①特別展「シーボルト家の地図」展 平成30年4月24日（火）～6月24日（日）

②企画展「伊能忠敬が見た星々」 平成30年7月31日（火）～9月24日（月・祝）

③企画展「伊能忠敬の協力者たち」 平成30年12月4日（火）～平成31年1月20日（日）

#### ■国宝伊能忠敬関係資料図録刊行

平成30年5月20日（日）より伊能忠敬記念館等で一般販売。



## 5. 議事 (4)数値目標・KPIの達成状況について

### (4) 数値目標・KPI(重要業績評価指標)の達成状況について……資料3

基本目標	数値目標/KPI		目標値 (H31)	基準値	H27実績	H28実績	H29実績	前年比	評価	
1地域における安定した雇用を創出	数値目標	新規就農者数〈農業経営体育成セミナー受講者〉	30人 (5年間累計)	—	17人	45人	75人	↑		
		誘致企業数 (合併後の累計)	14社	7社 (H25)		12社	13社	↑		
	KPI	①	認定農業者数	340人	265人 (H25)	340人	361人	363人	↑	A
			集落営農組織数	50組織	23組織 (H25)	27組織	41組織	51組織	↑	A
			香取ブランド認定数	11品	9品 (H25)	9品	9品	9品	⇔	C
		②	製造業事業所数	130社	110社 (H25)	—	—	—	—	E
			企業訪問件数	20社	10社 (H25)	11社	14社	15社	↑	B
		③	空き店舗対策事業を活用した新規開業者数	5件	—	1件	2件	4件	↑	B
			年間商品販売額	1,167億円	1,128億円 (H26)	—	1,173億円	—	↑	A

(KPI達成度)

A:達成済 B:順調 C:事業の積極的な推進が必要 D:見直しを検討  
E:その他



## 5. 議事 (6) 総合戦略の見直しについて

### ① 総合戦略へ新たに位置づけを検討する事業

・子育て支援体制の充実に向けた新たな取り組み

(仮称)香取市子育て世代包括支援センターの設置について… 資料5

基本目標	施策	主な取り組み	今後の取り組み予定	H29評価
(3) 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる環境の整備	③ 地域における子育て支援体制の充実	(新)子育て世代包括支援センター運営事業	妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」を設置する。センターでは、妊娠、出産、子育てに関する各種相談に応じ、必要な情報の提供や助言、保健指導を行うほか、関係機関と連携し、要保護児童などへの支援も行う。	—

来年度の方針(案)

総合戦略へ新たに位置づける

## 5. 議事 (6) 総合戦略の見直しについて

### ② 目標数値の変更を検討するKPI

評価指標	目標値(H31)	基準値	H29実績	新目標値(H31)
認定農業者数	340人	265人(H25)	363人	370人
集落営農組織数	50組織	23組織(H25)	51組織	60組織
ホームページアクセス件数(年間)	1,982,000件	—	2,598,611件	2,700,000件
観光施設外国人年間入込数	1,300人	1,192人(H26)	5,641人	6,750人
循環バスの利用者数	57,000人	54,933人(H25)	58,431人	58,500人
一般廃棄物のリサイクル率	18.60%	13.8%(H26)	18.87%	21.00%
人口1,000人当たりの交通事故発生件数	3.025件	3.716件(H26)	2.972件	2.960件
転倒予防教室参加者数	1,000人	530人(H25)	2,453人	2,940人

- ・香取市市民事業仕分けの実施について